

ヲヲカシマの「ソエのコトノヘのウタ」は、掛け言葉が多く使われています。また、含み言葉も多く使われています。さすが、アマノ「ヤネの直系のご子孫の教養の高さが如実に表れています。そう言ったことから、解説文をしたためるには、苦勞をとまいません。たとえば、「ヒサカタ」と言う言葉についても、単に「久しく」とだけの意味にとっては良くありません。アマテルカミからの御世の敬慕がここに有るからです。『ミカサノミ』の「ヒサカタ」の言葉は、アマテルカミの御世をお慕いする意味に使われています。

これから、解説文の執筆にかかりますが、期間を日数をどうしても必要とします。そこで、はじめの取っ掛かりだけをUPさせていただきます。

平成28年11月13日

池田 満

ほしつこ

文章

ホ02・奉旨に添えてのフシ

「ソエのコトノヘのウタ」(添付の上表文)

(アマノ「ヤネの後裔」イセのカンラミ、ヲヲカシマ謹述

「うはのしるしとハナヲシを そまてわさくる コトノヘ
のウタ」

畏友のオオタタネ¹が、『ホツマツタエ』を奉呈すると言いつ、
その、国家を思う心に感動しております。わたくしの年齢から数
えますと、13歳年下のタタネ²は、本当に優れた人物です。共
に、畏友として切磋勉学に励んでまいりました。そして、¹「¹」
上表文を添えさせて頂くことになりました。「ハナヲシ」初めのヲ
シテ³の、ソエ⁴(添え)に「コトノヘ」添付する上表文⁵」を添えさ
せてもらうのも、⁶とつても身に緊張を感じます所で御座います。

それは、『ホツマツタエ』が我が国の国体の在り処を、謹述し
てまとめ上げた貴い⁷フシ⁸(文献・書籍)であるからです。

歴史的な謹述の文章につきまして、『ホツマツタエ』は見事に
述べています。

さて、我が国の歴史を紐解いてみましょう。ヒサカタ⁹(長い年
月、アマテルカミの貴さを言ひ言葉です。『ミカサフシ』残簡文、
朝 3-39b 「典拠あらしの、昔から、伝わってきついました。こ
の伝統の事を述べます。

わたくしのお仕え申し上げていますキミ¹⁰(天皇陛下)の、お召

しになられるカナムリ(冠)は、その昔、アマテルカミの所縁(ゆかり)になります貴重宝物なシナで御座います。まさに、アマテルカミの作らせ給たまいまして、代々世々に受け継がれてまいりました。アマテルカミからの伝統のもとに、**𐤀𐤁𐤃𐤅** (サラシカ、朝廷(JUNGS本体)からの使者の事も指す、タマ(JUNGS本体)が大宇宙の中心から齎されて人々が生まれ変わって循環することも意味する言葉。特殊ヲシテ文字の中縦棒の「𐤀」が用いられています、大宇宙とのつながりを強調してのヲシテの遣い別けです。特に、アマテルカミの「𐤀」遺勅に関する用例があります。ホ 28-40(7234)、ホ 28-40(7237)、ホ 28-42(7242)、ホ 28-48(7268)。「𐤀」では「**𐤀𐤁𐤃𐤅** **𐤀𐤁𐤃𐤅** (アモトノ サラシカニ)ホ 28-42(7242)」の用例は、大宇宙とのつながりを明瞭に表す意味を含んでいます。アマテルカミの「𐤀」指摘の通りでして、8方向から齎される天地自然の恵みの恵みのおかげで、わたくし達は暮らしてゆけるわけです。また、アマキミ(古代の天皇陛下)は、8方向「ヤトヨハタ (ホ 4-33(577)、ホ 11-22(2021)、ホ 38-2(9602)、朝 3-30a(11782))を建つ「𐤀」即位の宣言をなわいます。すなわち、アマカミのアメツチへのウケ(恵みの享

受と、及ぼし行く事(を)祈念なさいますのもアマテルカミの力
ンムリ(冠)の所縁を込めての事です。それは、アメツチの巡り
の季節にも、さらに、「ヲホカミニトタメ」の大宇宙からの齎しの
方角にも、八方方位にアマキミ(古代の天皇陛下)は、その影響
力を身にも具えらるるのです。じうじう、
ツリ(をお執り)になられます。
「**○**」(アサ)の「**○**」(ア、ア)宇宙の中心「**○**」(カ、カ)「**○**」(サ、
地表に降りて来て広がる)「意味のマミ」(政治)をお執り
なられる事を指します。**○** (マミ) (も、ヲシテ文字のイメ
ージから生成されてきた概念を詳しく説明します)、また長くな
ってまいりますので、此処では省略させて頂きます。

— のちの文章は、これから練って記述してまいります。 —